

# シルバー出雲

## 回覧

(題字…久津名 等平 初代理事長)

編集・発行：公益社団法人出雲市シルバー人材センター

発行日：平成26年9月19日 印刷：柏村印刷(株)

## 地域に根ざす シルバー事業 めざして



地域貢献と普及啓発活動の一環として、当センターでは毎年各地域ごとに地域内の公共施設等の清掃や除草などのボランティア活動を実施しており、関係機関から大変喜ばれております。

### 目次

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| ■ 副理事長挨拶・常務理事挨拶 …… 2 | ■ 仕事を申し込むには …… 6 |
| ■ 定時総会開催 …… 3        | ■ 刃物研ぎのお知らせ …… 6 |
| ■ 会員互助会活動 …… 4~5     | ■ 会員になるためには …… 7 |



## 私にとっての介護と シルバー人材センターの意識改革

副理事長 長廻 國夫

私は六人兄弟の五番目で四男、下に妹がいる。子供の頃は全く存在感がなかったが、何をしても自由、天真爛漫、言ってみれば頼りにされない存在であった。

実家には借家があり五所帯の家族が入っていたために二、三人のおばあちゃんがあったが、このおばあちゃんを私がおせ（可愛がり育てた）にしたのである。春はよもぎつみ、土筆採り、秋はイナゴ取り、川土手に花つみ（アザミ、オミナエシ、センブリ、ゲンノシヨウコ、など）、小川で田螺取り、馬木のお不動さん参り、勝定寺（馬木町）のツツジ見などなど、どれも忘れ得ないほど楽しい思い出であり、その後の人生の精神的な要になったのである。

実家の前にはおばあさんが二人おられて、私が遊びに行くと、病気で寝たきりのおおばあさんはすごく喜ぶのである。寂しがつて涙を出されるので小学生の私は布団の中に入り話し相手になった。歩くことも出来ず、骨と皮であるが〇〇町部を従え、伊能忠敬が塩冶を測量した幕末からの名門（神門弥治右衛門）であり、表情になんとなく気品が残る。

やさしく私に話しかけるおおばあさんは数年して天国に召されたのである。借家のおばあさんで、一番高齢のおばあさんが亡くなり、棺桶に座った格好で納められ

たが、隙間があったため、子供の私は、ふざけて中に入ったのである。遺族は思わず爆笑してしまった。それだけ私と遊び、育てたおばあさん達とは近い関係だったわけである。

人間一番大切なものは、やはり思いやり「恕（ジヨ）」の心、すなわち愛情だと思ふ。

一方、シルバー人材センターが生き残るためには意識改革が急務である。長年にわたって地域社会と高齢者の生きがいづくりに貢献してきたが、近年、政府の行財政改革及び民主党政権による事業仕分けの暴挙により、経営基盤と職員・シルバー会員の意識が大きく後退した。とりわけ地方では深刻である。

最も懸念されるのはシルバー会員の大幅な減少である。私は適正就業の厳密な適用を強制し始めた、四・五年前から、このままだとシルバー人材センターの組織は管

業開発面、意識面で半減すると主張してきたが、無関心な会員が多く予想どおりになってきた。

高齢化社会の進展に伴い、高齢者が幅広く就業しなければ労働市場のバランスは大きく崩れる。高齢者が意欲的に就業しなれば社会全体の労働力低下は否めない。

したがって、これらを踏まえ、健康で意欲的な高齢者の育成を図り、多様なニーズに対応できる、雇用、就業機会を確保しなければならぬ。今後の対策においては、「臨時的、短期的」の枠を超えて、ある程度

の継続的な就業、雇用的な要素を持たせないと事業主体からソッポをむかれ、生き残りはまず不可能であろう。現実に公共の事務的な仕事の大半は当然の如くなくなったのである。東京のシルバー人材センター等が、今後は「臨時的、短期的」の枠を超えて「雇用的、継続的」な運用を考慮するよう要望書を関係部署に提出した、というからやる気があつて大変面白い。

シルバー人材センターの指導者は「天下り先確保の雇用集団で国費の無駄使い」と「蓮舫議員」等からの批判を受けないようにするためにも組織の活性化が望まれる。



## この難局をのり越えるために

常務理事 原 文男

シルバー人材センターでは毎年二回「シルバー出雲」を発行し、市民の皆様には町内回覧にて、シルバー事業をご紹介したり、

特に市町村合併に伴う近隣のシルバー人材センターの事務局体制や財政状況を皆様にお知らせいたします。

ご承知のとおり、平成の大合併により平成十七年四月からは、平田市・大社町・湖陵町・多伎町・佐田町の五センターは出雲市のセンターと一緒に、本部、支部体制を敷き新たな出発をしました。また、平成二十三年一〇月には斐川町センターとも合併しその後、支部事務所を廃止し連絡所に改め、本部一極体制とすることで今日を迎えております。

この間、各センターにおいて従前からご利用頂いておりました皆様には、何かとご不便をお掛けしたことにつきまして当紙面を借りてお断り申し上げます。

このように周辺の各センターを本部体制に変更したのは、シルバー人材センターの財政基盤であるところの国及び市からの補助金が合併後に大幅に減額されたからです。

二回の合併及び国の事業仕分けに伴う措置が実施されたことが大きな原因です（二部の激変緩和措置は平成二十九年度まで継続中）。

従いまして、当センターでは支部の廃止に伴う職員の減員を始めとする様々な合理化・効率化に努めるとともに、健全財政の確立を目指して役職員・会員が自助努力を行うことで、この難局を乗り切る所存でございます。

つきましては、このような現状をご理解、ご認識賜りますようお願い申し上げます。

# 平成二十六年 定時総会開催

## 幅広い就業開拓と会員増強を目指して

平成二十六年五月二十八日（水）午後一時三十分より、ビッグハート出雲白のホールにて、平成二十六年定時総会を開催いたしました。

会員参加数六四〇名（委任状提出者四九一名含む）をはじめ、来賓である伊藤功出雲市副市長、福代秀洋出雲市議会副議長のご臨席を頂いた中、長廻副理事長の開会のことばにより幕をあけました。理事長あいさつの後、会員表彰、来賓祝辞、資格審査報告に続いて、議長には片寄修氏が選出され、報告事項を行い、議案審議に入りました。

### 一・報告事項

議案審議に先立ち、平成二十五年度補正予算及び平成二十六年事業計画・収支予算の報告を行いました。

●平成二十六年事業計画について  
我が国経済において、デフレ脱却のための様々な政策が打ち出され経済の活性化や、それに伴う雇用環境の変化への期待が膨らむ中で、物価上昇や消費税増税に対する不安が混在している状



況にあります。そして、当センターにおいては、シルバー事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」をさらに浸透させ、元気で働く意欲のある高齢者が生涯現役として、地域社会に貢献していかなければならないと考えています。

このような中で、国の施策として「生涯現役社会活躍応援事業」が実施されることとなり、センターの立場から基盤拡大事業として、次の三項目を重点

事業として積極的に取り組むことになりました。

- (I) 就業開拓推進への取組み
- (II) 会員増強推進への取組み
- (III) 安全就業・適正就業推進への取組み

### 二・議案審議

平成二十五年事業報告・収支決算、定款の一部変更、役員を選任、理事長に対する権限の委任についての審議を行い、すべての議案が承認されました。

### ●平成二十五年事業報告

平成二十五年の我が国の経済は、東京オリンピック招致の決定などに加え、アベノミクス効果により明るい兆しが見えてきてはいますが、地域経済においては今までの低迷状態から完全に脱却したとは言えず、まだまだ安心できる状況ではありません。そして、当センターを取り巻く環境は一段と厳しさを増しており、特にここ数年の国・市の補助金の大幅な減額に伴う財政基盤の確立に向けて、多方面における自助努力を行っているところです。

このような中であって当センターでは、全国的な事業である機能強化推進事業に取組み、また、民法の改正に伴う新たな公益社団法人として活動を展開した結果、事業実績は四億三〇三万円、受託件数は一万三五六〇件となり、

前年度と比較して事業実績は五八二万円下回り、受託件数は一六〇件上回る結果となりました。

### ●役員の選任

役員の退任に伴い、新たな役員を選任を求め承認されました。これにより、次期改選までの役員は別記の通りです。

## 役員紹介

理事長 今岡 一郎（出雲）

副理事長 長廻 國夫（出雲）

川井 輝江（出雲）

原 文男（出雲）

嘉藤 馥美（出雲）

中尾 克行（大社）

小澤 一昭（平田）

川上 勝美（河南）

原 達雄（斐川）

柘植 克彦（斐川）

板倉 明弘（市議会）

佐藤 茂（市役所）

井上 明夫（市役所）

山田 恒子（出雲）

# 会員互助会活動



## ★会員互助会とは★

互助の精神に基づき、センター会員の親睦と相互扶助  
および福利厚生を図ることを目的としたものです。



互助会同好会活動  
花ざかり!

手芸



踊りの会



カラオケ



コーラス





グラウンドゴルフ

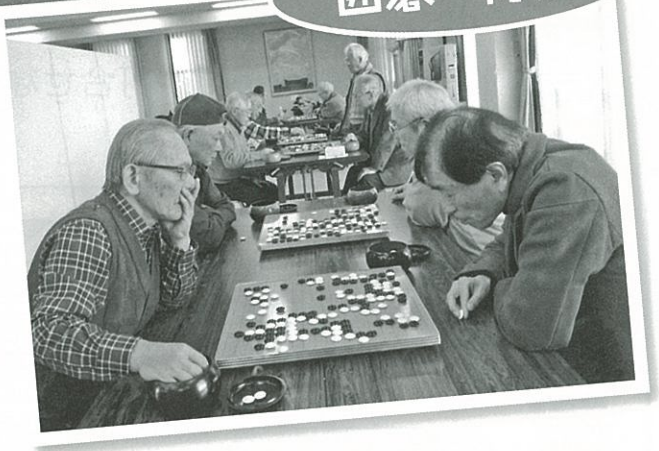


同好会一覧表

- ☆コーラス
- ☆カラオケ
- ☆手芸
- ☆表装
- ☆踊りの会
- ☆グラウンドゴルフ
- ☆囲碁
- ☆将棋
- ☆マジック



囲碁・将棋

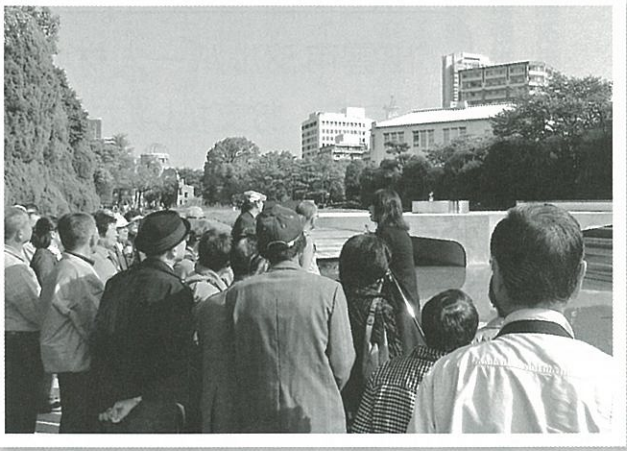


同好会のほかに互助会主催の行事として、次のようなイベントも開催しています。

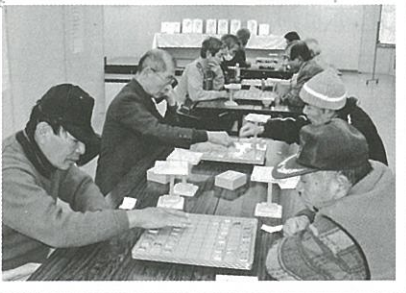
会員作品展



目帰り親睦旅行



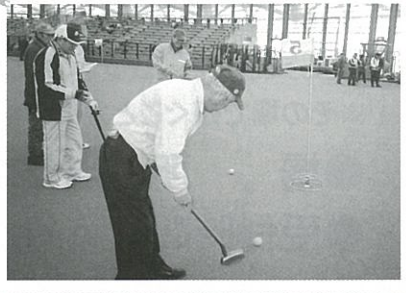
囲碁・将棋大会



ボウリング大会



グラウンドゴルフ大会

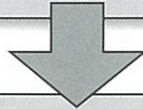




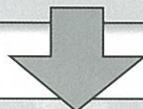
# 出雲市シルバー人材センターに 仕事を申し込むには



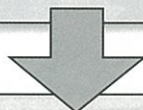
お電話いただくか、直接“出雲市シルバー人材センター”までお越しいただき、お申込み下さい。



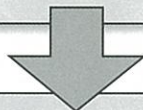
作業現場の下見や打合せなどにより、ご依頼内容の確認をいたします。



お見積りの上、契約いたします。



契約に基づき仕事を遂行します。仕事が完了しましたら会員が報告しますので、作業結果をご確認の上、就業報告書に押印またはサインをお願いします。



“出雲市シルバー人材センター”から請求書を送付いたします。お支払いは指定の口座にお振込いただくか、直接“出雲市シルバー人材センター”までご持参下さい。



## 刃物研ぎ



包丁等の『刃物研ぎ』について、当センター本部（今市町北本町）にて実施しておりますのでご利用のほどよろしくをお願いします。

※その場で研ぐことができない物は、お預かりさせていただきます。

- 場 所 当センター本部（今市町北本町）
- 受付時間 毎週水曜日 9時～11時30分



お気軽に  
どうぞ！

## 会員になるためには

会員  
資格

出雲市内にお住まいで  
60歳以上の健康で  
働く意欲のある方



### 入会説明会に参加

趣旨・制度・仕組みなどについて説明を受けてください。

### 入会申込み手続き

センターの趣旨・制度などをご理解、ご納得いただいた上で、入会を希望される方は、入会に必要な書類(入会申込書・写真・入会誓約書など)をセンターに提出します。

年会費・会員互助会費を納入します。

### 入会決定

# 働く意欲のある会員を

# 広く募集しています!!

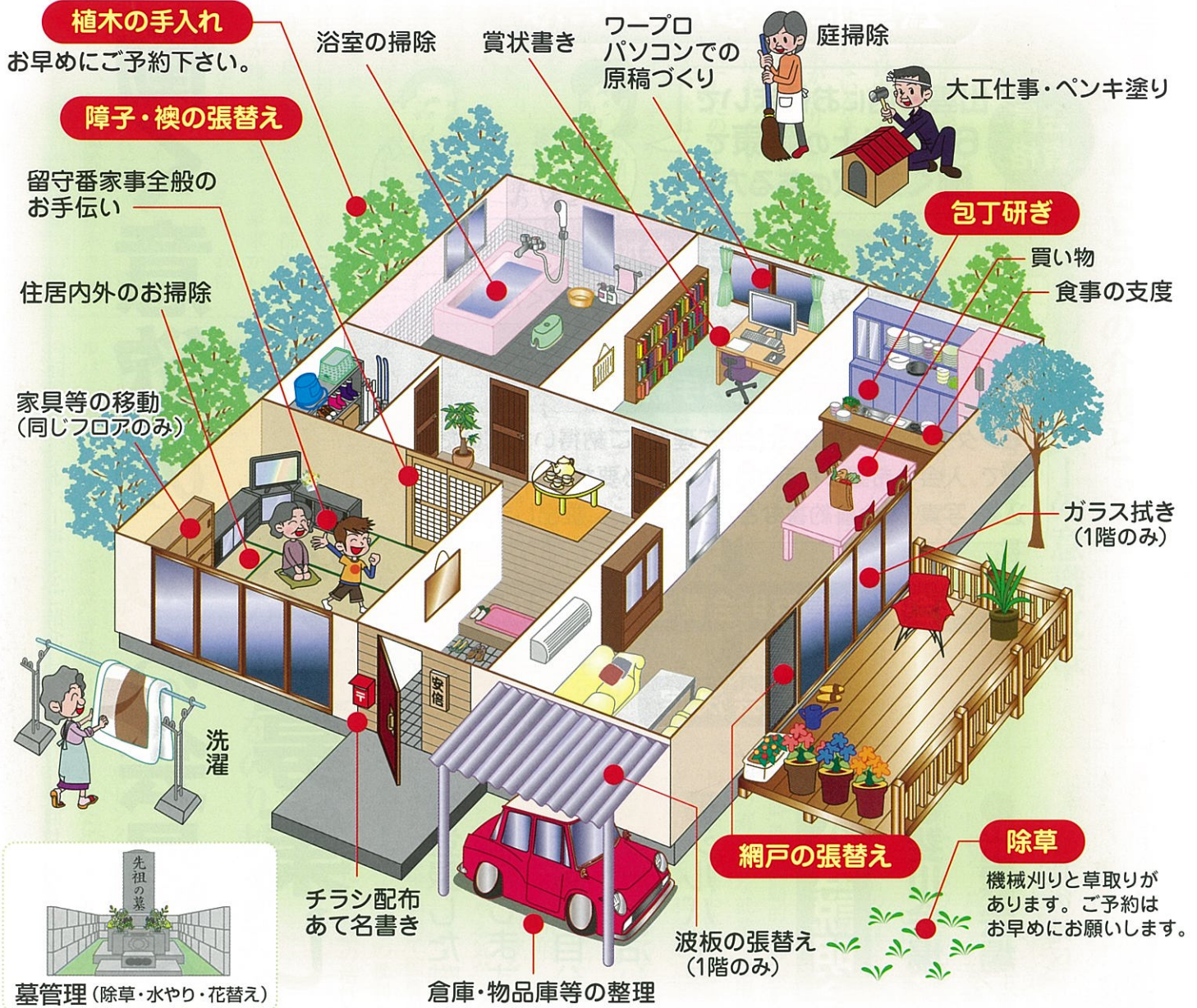
## 入会説明会

- 斐川会場 / 第2火曜日(午後2時から)
- 出雲会場 / 第4火曜日(午後2時から)

※他の地区でも開催していますので、お気軽に事務局までお問合せ下さい。

- 登録した職種から、それぞれに合った仕事を紹介します。
- 仕事は自分のペースで行います。
- 技能を活かし、責任を持って仕事をします。
- シルバー保険等で、もしもの時も安心です。

# 家事・家回りから専門分野まで、様々な仕事をお引き受けします。



## 福祉・家事援助サービス事業

シルバー人材センターでは、家事援助サービスに今後、**ますます積極的に**取り組んでまいります。日常生活のちょっと困ったこと(食事の支度・買い物・屋内清掃・洗濯など)をお手伝い。料金は状況に合わせてご相談させていただきます。

●高齢者の安全に配慮して、危険・有害な仕事はお引き受けできない場合もあります。●職種により季節的に集中する場合は、多少お待ちいただく場合もあります。

お仕事のご依頼、ご相談は…

# 公益社団法人 出雲市シルバー人材センター

出雲市今市町北本町2丁目1-6 TEL (0853) 24-1787

会社等の駐車場管理、建物管理、受付事務、事務整理、発送準備もお受けします。その他の仕事はご相談ください。